

10年目の再会



R18
ADULT ONLY

あれはもう
10年も前の話

学長の
ばかやろー！

先輩

夜中ですよ







待った!

下層の子供は
まず逃がすな

俺もさ
逃げろ!!

はッ



し



放せ!



細い...!!

すまない

痛かったか...

返せば
いいんだろ!



はい

スられて
しまったのは
私の落ち度だ



でもこの財布は
愛着があるから
返して欲しい

それで
どうかな？



ほどこし
なんて
要らない

えっ

そ...そうか



うーん

一度出しすぎた
納めるのも...



代金だ

ああ...
勉強代か







これはただの
エゴと傲慢の
なだろうが

体を売るのも
厭わない
痩せた少年に

せめて
ひと晩の
ベツドと
安らぎを
与えて
やりたか
った



ああ
来たね

リンゴを
食べるかい？



キミ！服！！

どうせ
脱ぐだろ

いいから――

いいから
始めるぞ











外は
寒い
だろう



私は明日
アトラスダムへ発つ

一緒に行こう

屋まで
にまた
ここへ
来なさい

その兄弟も
一緒にいい

待っているから!





よく聞けよ
ダリウス！

…途中で
衛兵を呼ばれた

おびき寄せて
引き渡す
つもりだろ

そんな
うまい話が
あるかよ

じゃあ
結局稼ぎは
そいつだけか

…これは
気に入ったから
売らない

なんだか？
惚れたか？

処女でも
あるまいし

どんなプレイ
してきたって
言うんだ？

教えろよ

何回
イカされて
きたんだ？





大人なんか
信用するな



わかってる

俺たちは
生きている
んだ



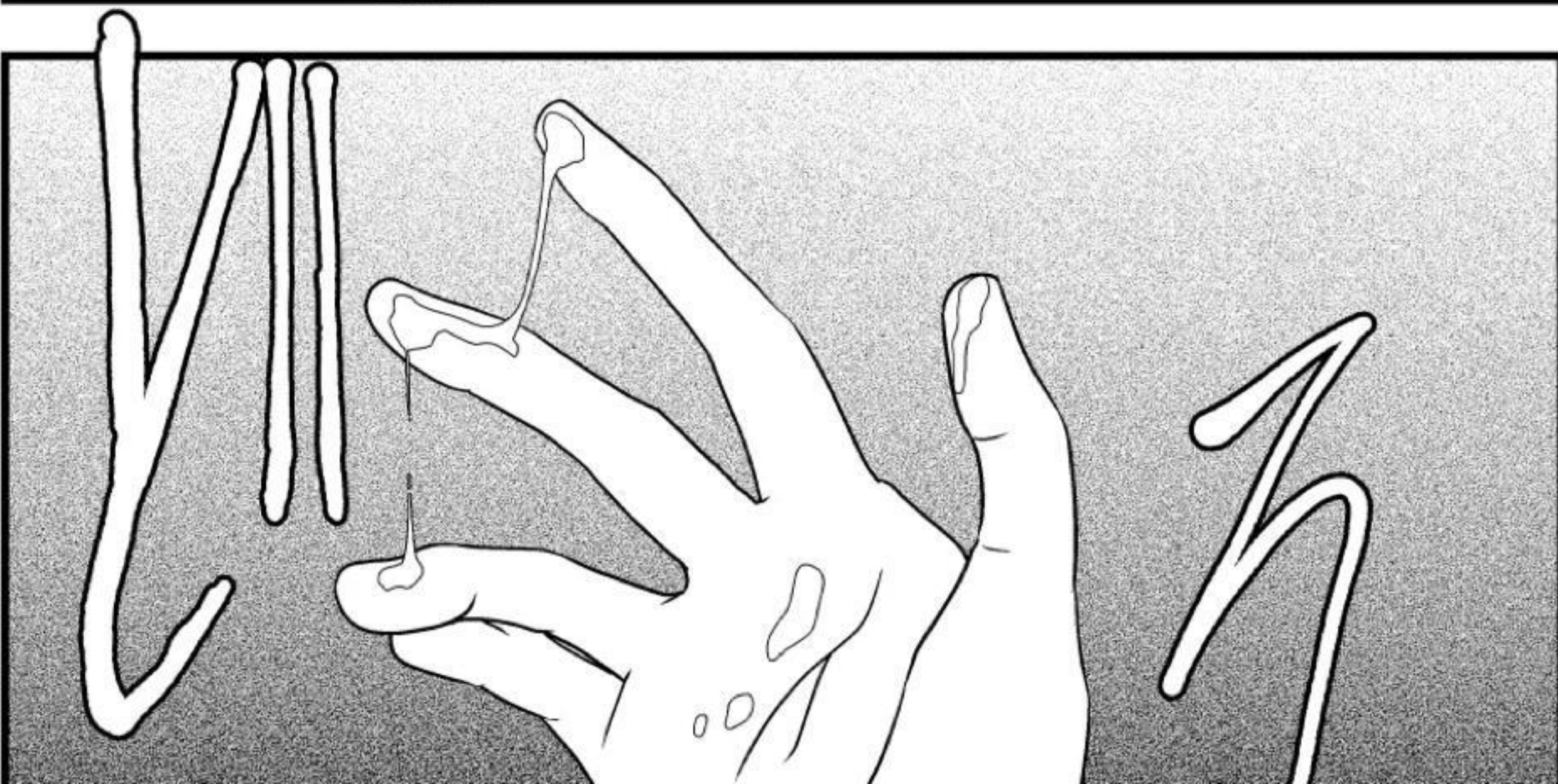
ホラ機嫌
直せよ

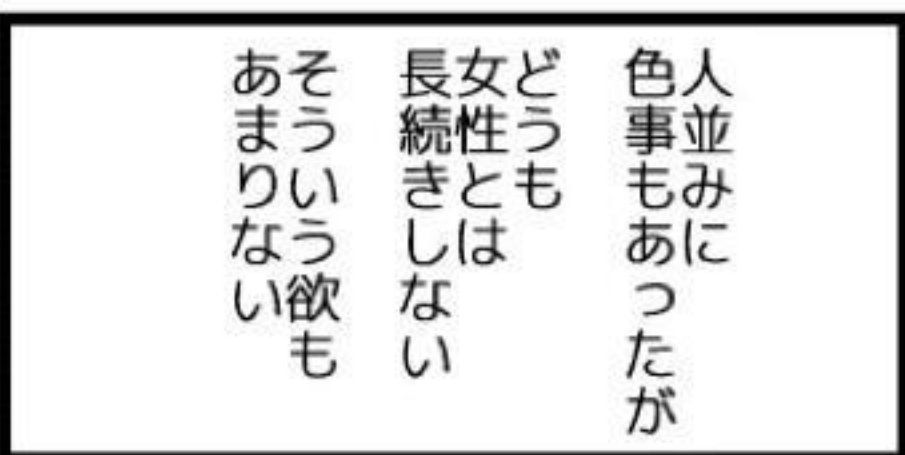


もうやら
せてや
らないぞ

けど痛いのは
やめろって
言ってるだろ！

わかったわかった
悪かった







今でも
リバーフォードに
いるのだろうか

アトラスダムからは
あまりに遠い

生徒を放つて
いかないけ
も



少年趣味
というわけでは…

断じて—

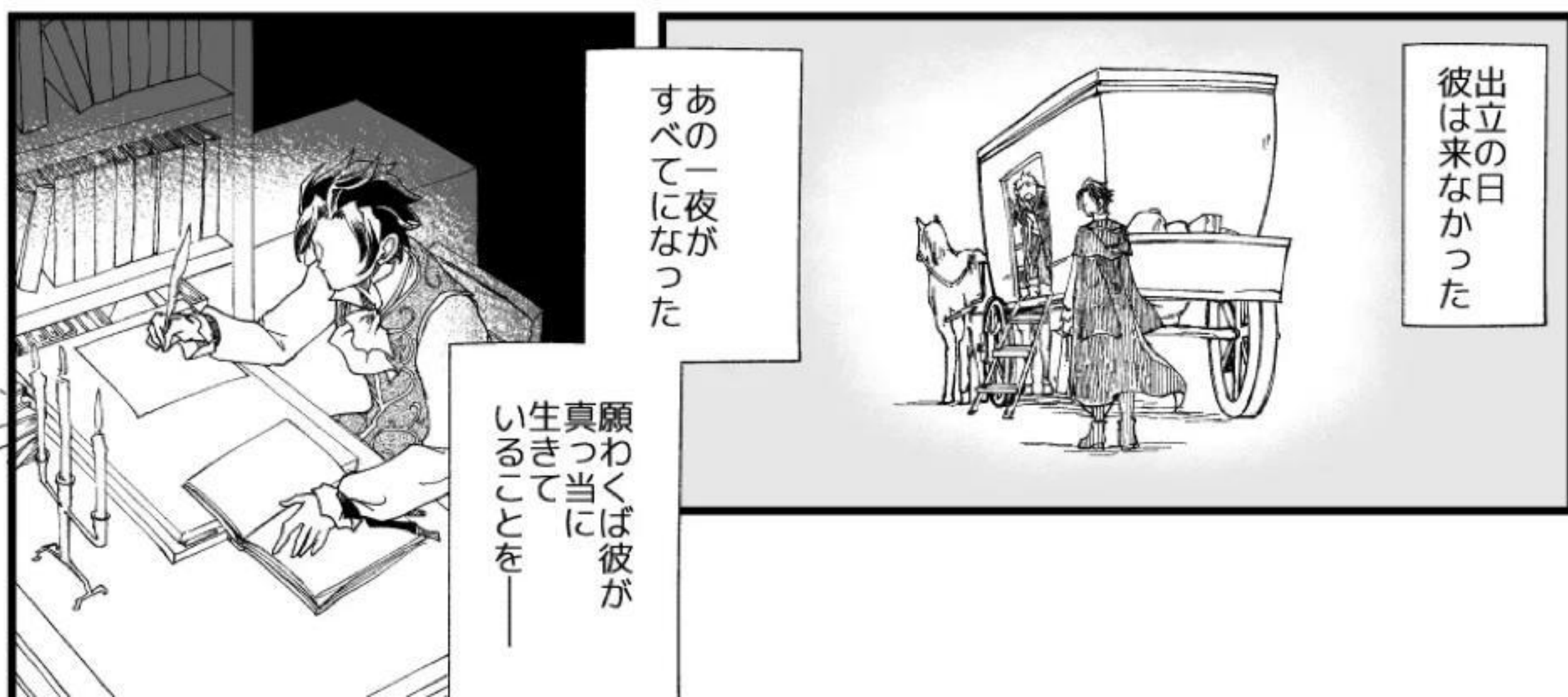


10年…

今ではもう
すっかり大人に
なっただろう

思えば名前も
聞けなかった

銀の髪
翡翠の瞳



出立の日
彼は来なかった

あの一夜が
すべてになった

願わくば彼が
真つ当に
生きて
いることを—



喜びよりも
戸惑いがあった

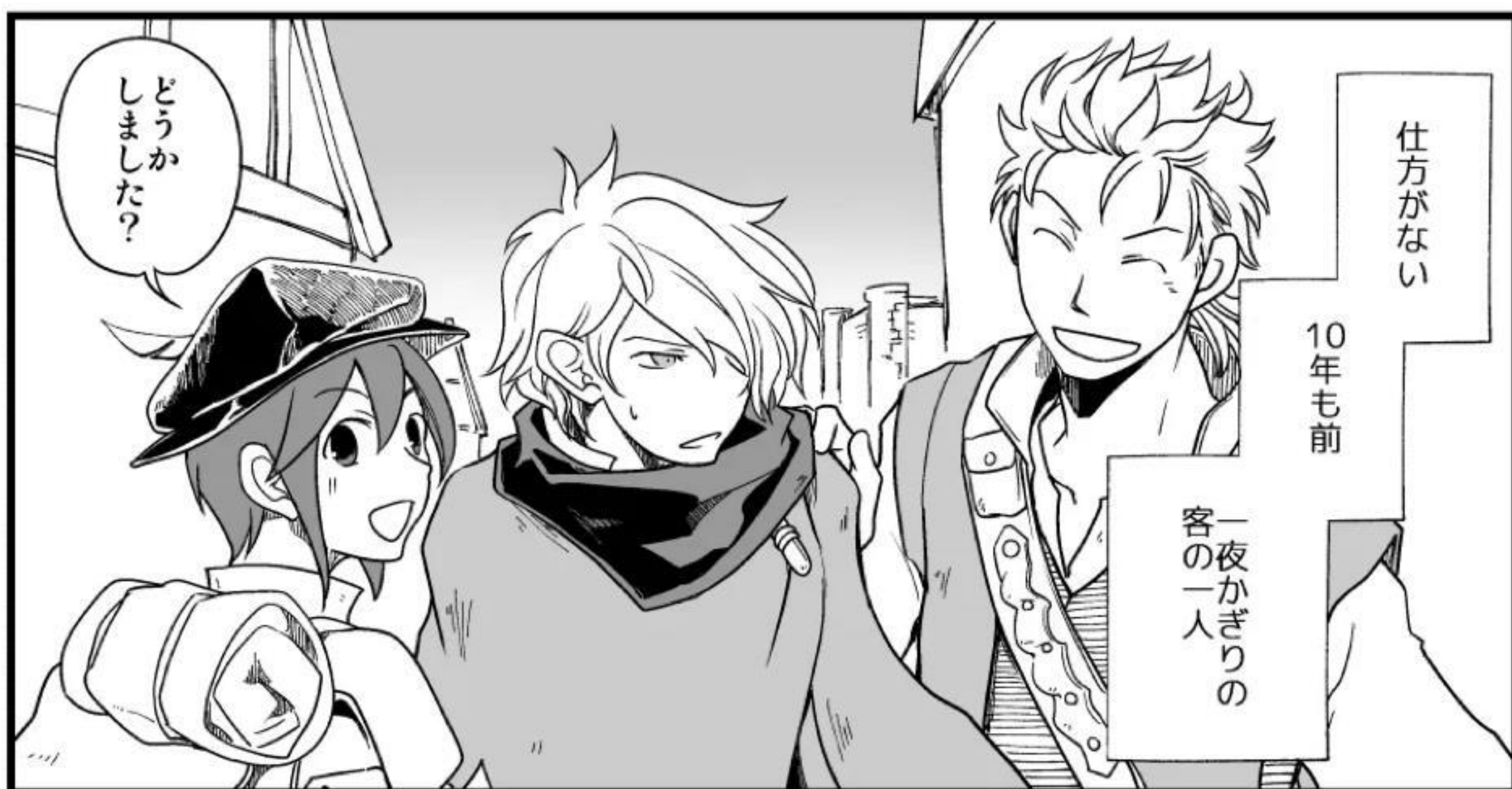
いかなる事情で

遠いリバーフォードから
このアトラスダムへ
彼が現われたのか

いかなる事情で

あの翡翠の瞳が
凍てついていたのか

アメン



私は彼を
救うことが
できなかったのだ

わーっ
寒ーい！

一気に冷えて
くるな！

何か防寒具は
持っていないのか？

…商品だから
我慢する…！！

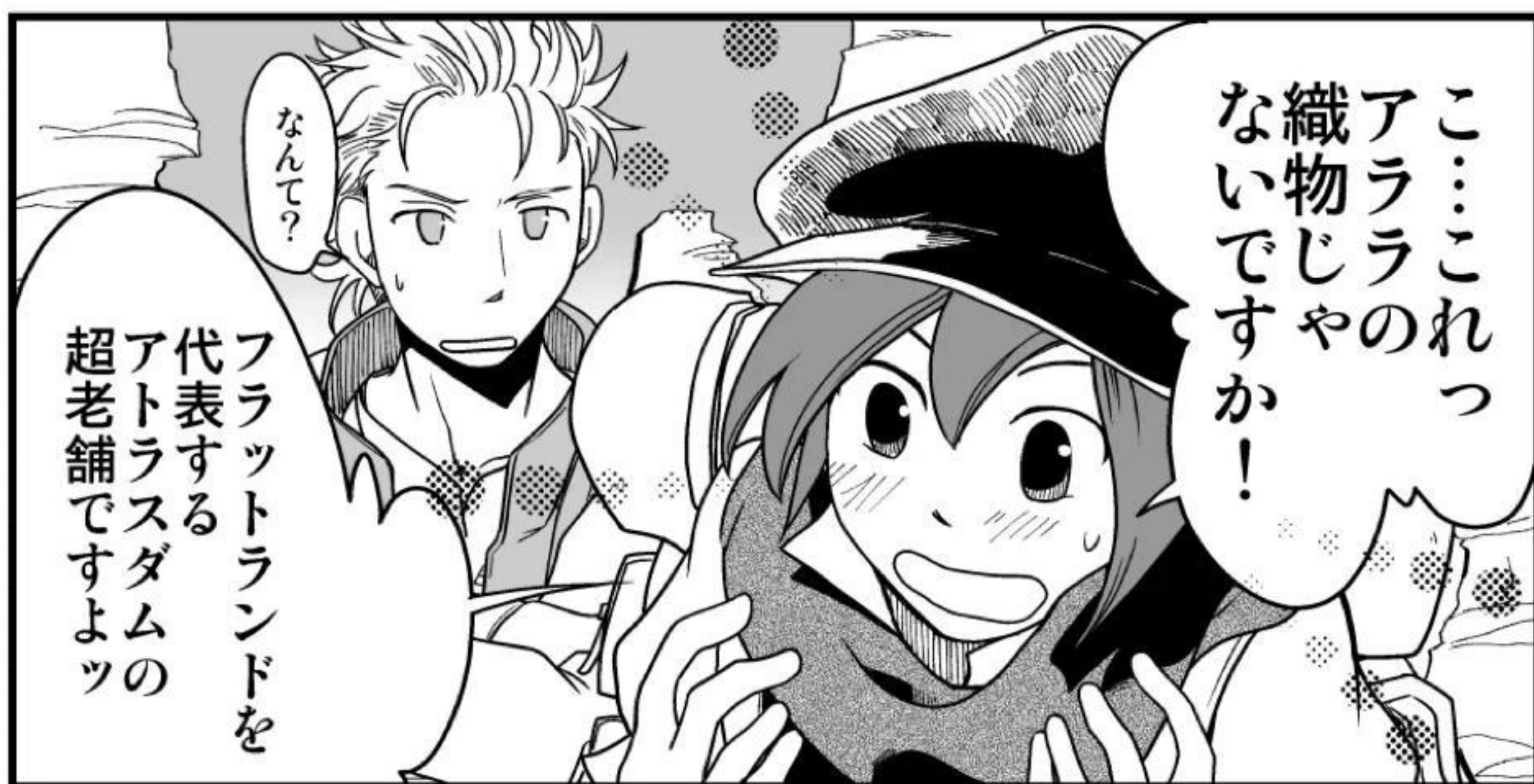
プロ根性だなあ

一緒に入る？

これを

いいよ
2人が寒く
なっちゃう！

おい





あ
あ
知
り
た
い

知
り
た
い

君のことを

観察して
気付いたこと

彼は一流の
盗賊だ

鍵開けをし
くもじつな
いた

戦士に引けを
取らぬ剣技

トリッキーな
戦闘技術

仲間であつても
人との距離を
広め取る

だが特に
人が苦手と
ないうけだ
さそうでも

フミ、アラビヤの
アラビヤの槍が
手に入ると、ホ
ン

時折

寂しそうな
顔をする

例の兄弟と
離れている
からだろう
か





この男が

彼を傷つけたのだ

深く
深く

絶望に
突き落としたのだ



一度…
ポルターフォールに
戻る…







別に…

あんた達を
疑っちゃ
いないさ…



そうかい？

それなら
いいのだけれど—

でも



先のことは誰にも
分からないだろう？

学者先生





ダリウスの
アジトに潜入する

協力して欲しい

うん！

当たり前だろ！



私たちは
どこへも
ついて行くよ

それはキミを
信頼しているからだ



その灯を
私でなかつたのは

少し
悔しいけれど





勝私
つた
たは



彼は勝った

彼の過去に
彼の絶望に

打ち勝ったのだ



さよならだ
兄弟

くたくたー！

あつたかいモン
食べに行こうぜ

さんせい

：俺はまだ
大っぴらに
歩かない方が
いいだろうが

明日はまた
ポルダーフォールに
向けて――

テリオン







キミがちゃんと
休めているか
気になってね





『外は寒いだろう』



覚えて…?

キミは…



…正確には
思い出したんだ

色々な思い出が
どんどん
溢れてくるんだ

…人間そんなに
多くを覚えてる
もんじゃないと
思ってたんだが
俺がただ
思い出さなかつた
だけらしい

仕事に集中
していたら
楽しい

難しい仕事で
あればあるほど
他のことを
考えずに済んだ

あの時きつと
俺は死んだんだ

ダリウスに
裏切られて
崖から
突き落とされて…

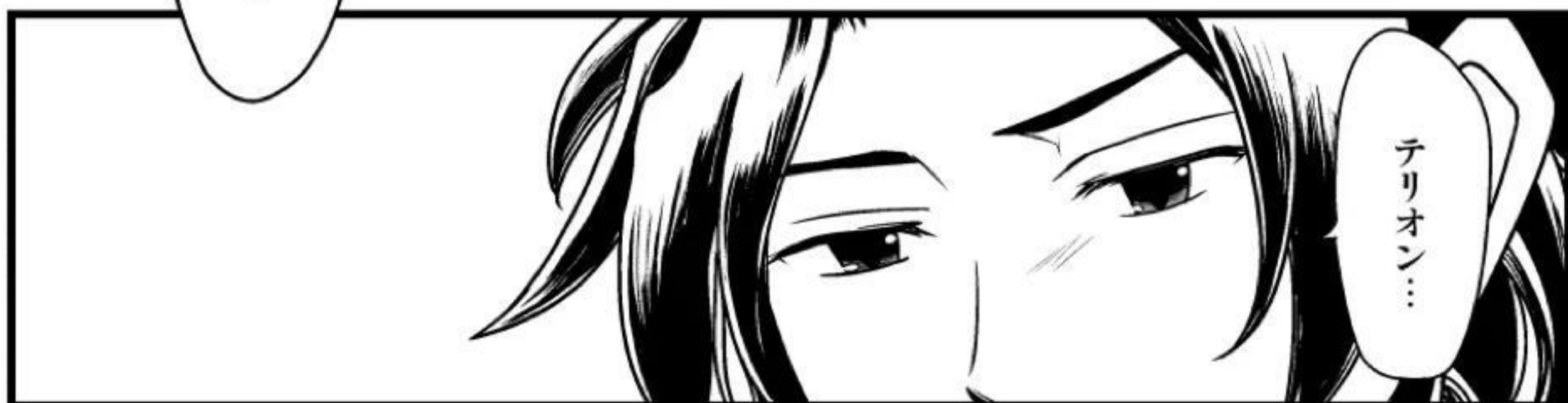
下の川に落ちて
文字通り
這いつくばって
生き延びた

あれから
ただ死んだように
生きてきた

余計なことを
思い出さないように

余計な思い出を
作らないように

もう二度と
あんな思いを
したくなかった…





…逆に
お互い大人に
なった今だから
躊躇いなく言える

キミが好きだ
テリオン

道中だって
よく考えた

男でも
盗賊でも
キミが好きだと
いうのが
私の結論だ



…熱い視線は
時々感じてたが

それは結構

その上で
ひとりの部屋に
入れてくれたのは
そう思ってたの
いいのかな？

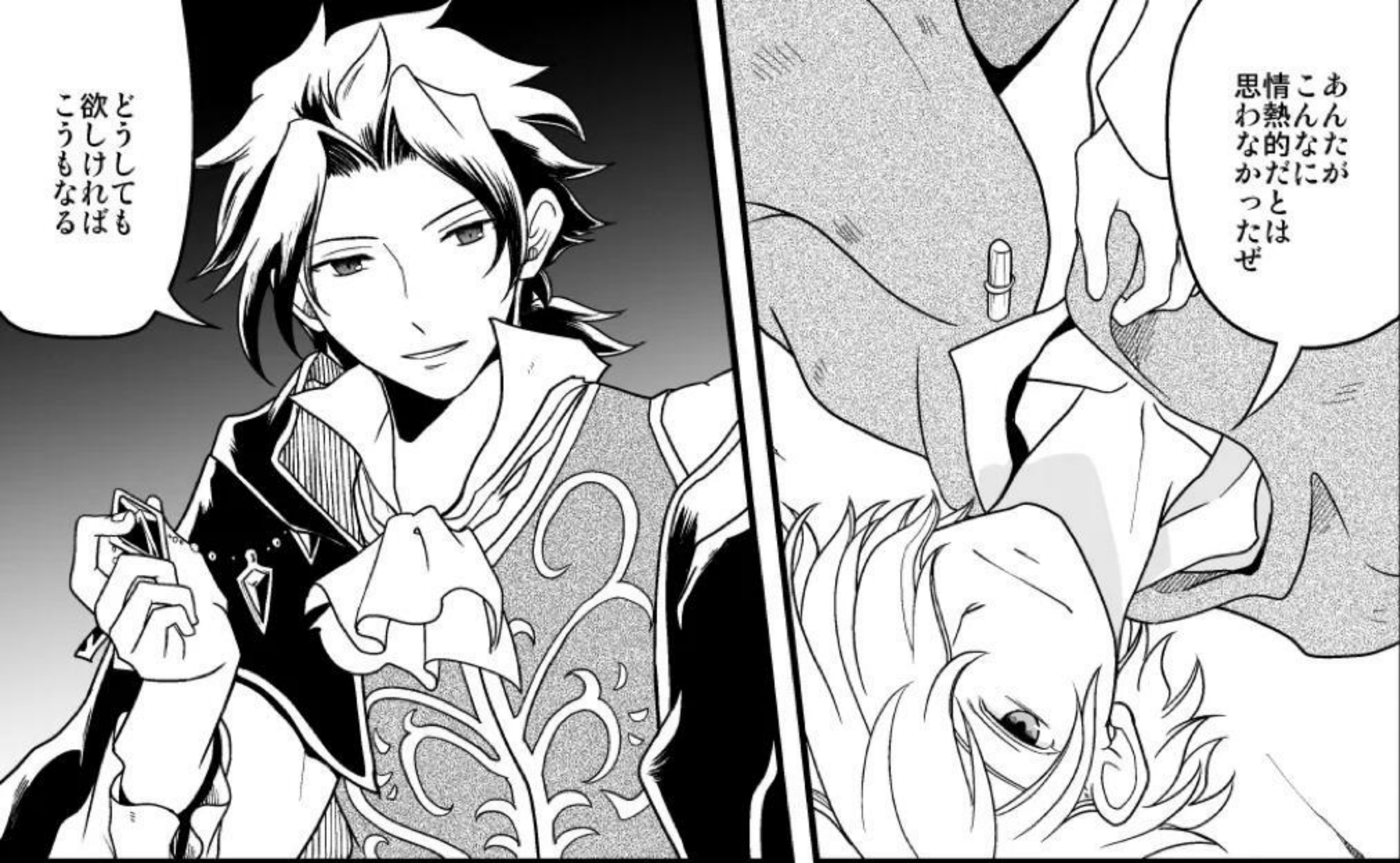
聡いキミなら
意味は分かるね？



賢いあんたなら
答えはわかって
いるだろう？

学者先生





どうしても
欲しいければ
こうもなる

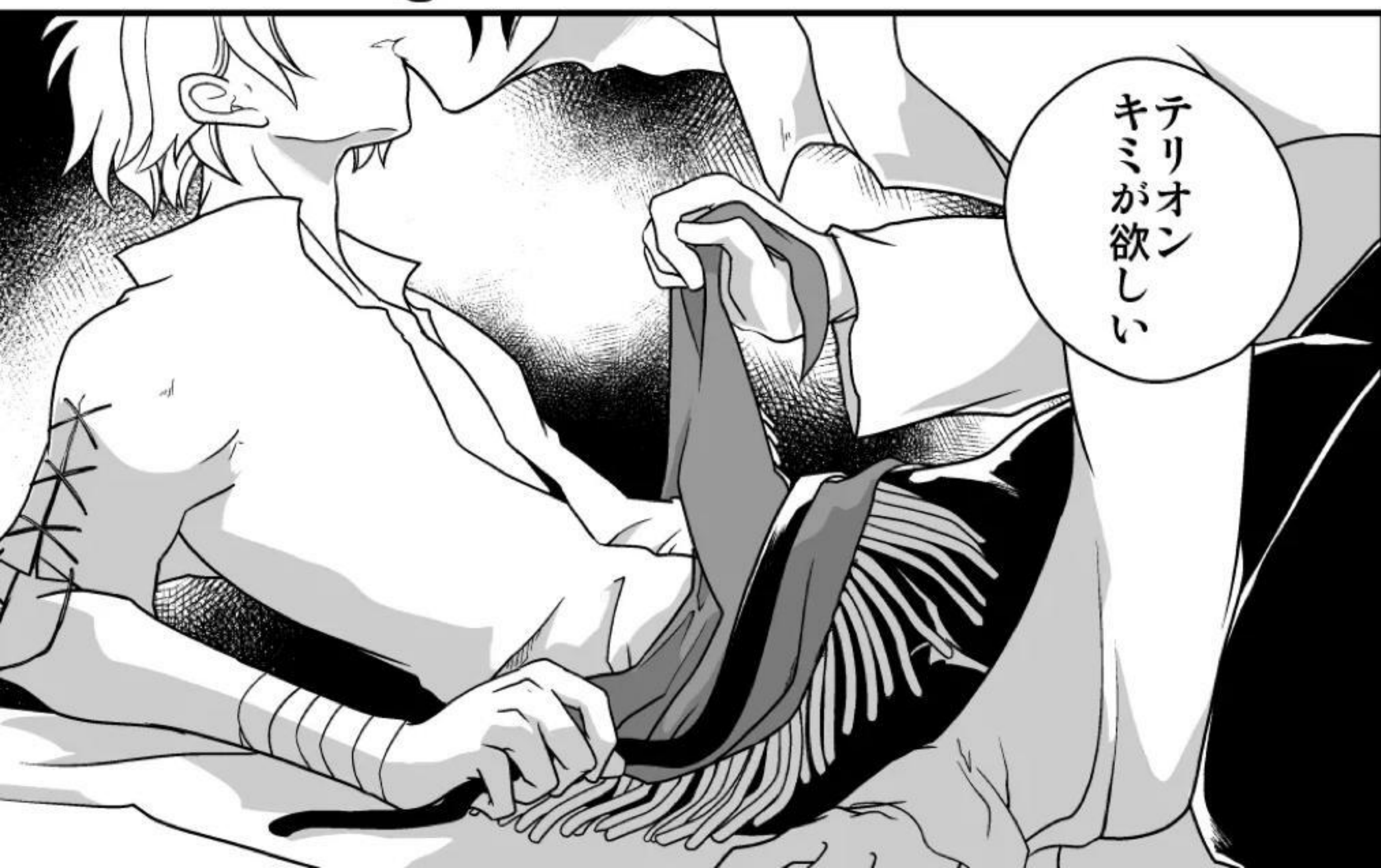
あんなに
情熱的だとは
思わなかったぜ



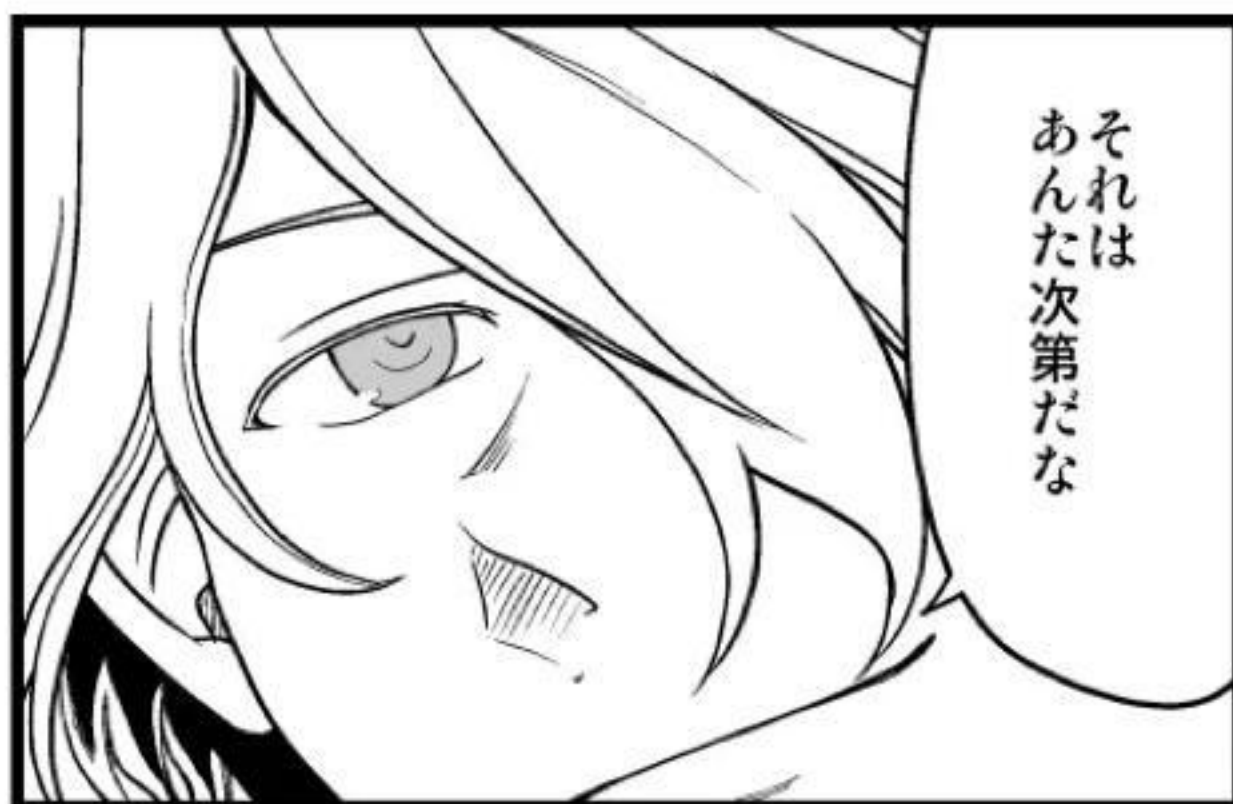
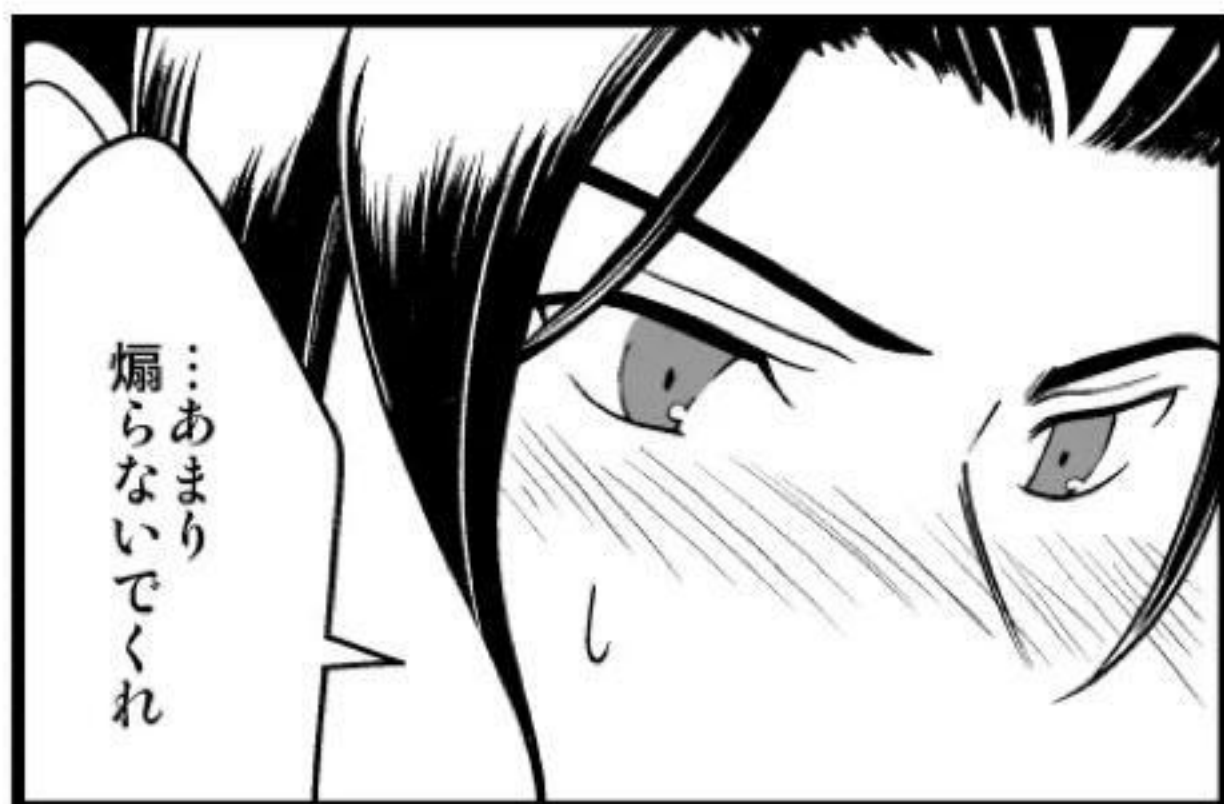
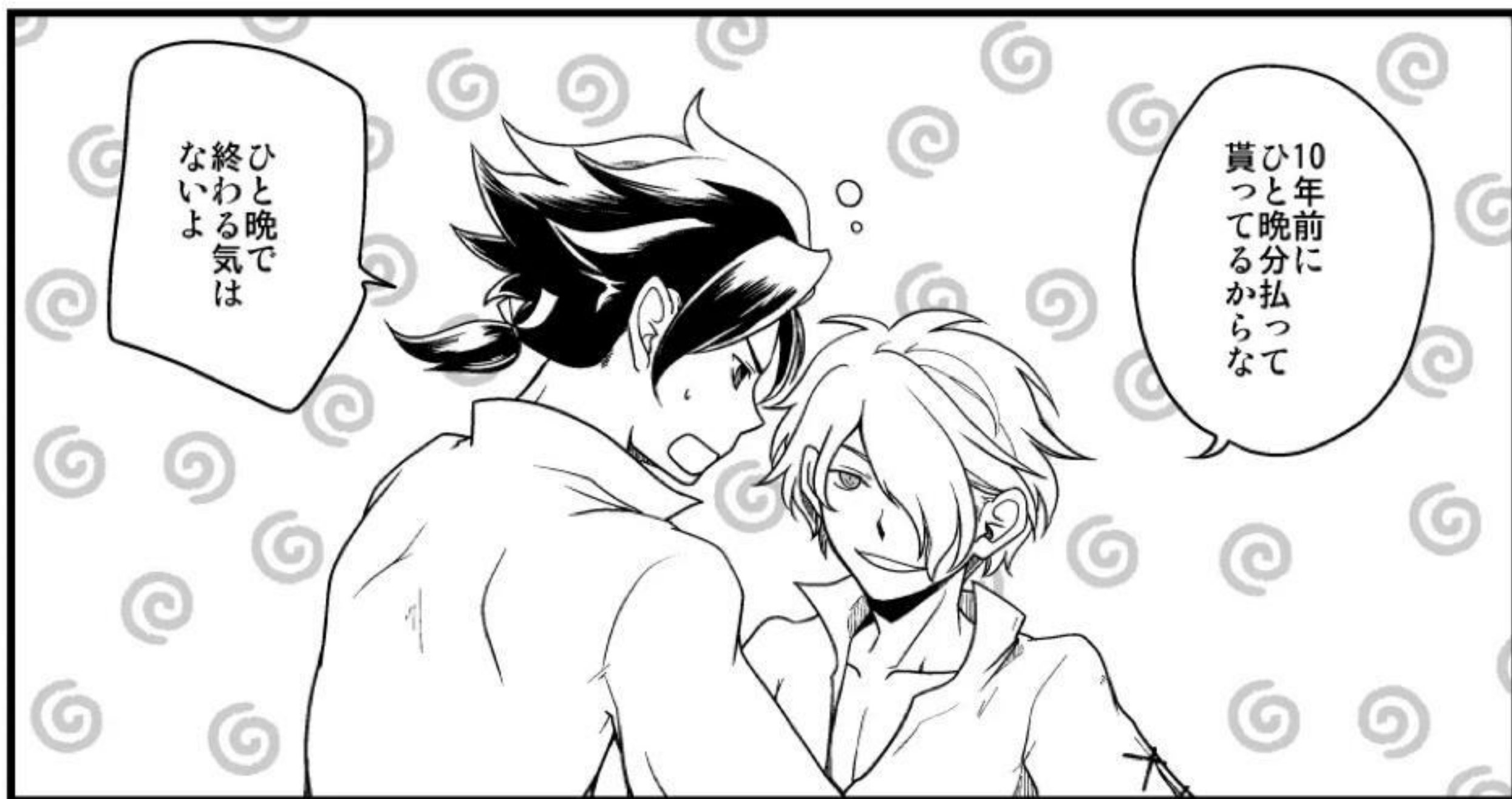
：わざわざ
苦労しなくても
相手はいくらでも
いただろうに

私は
欲しい物には
労は厭わないよ

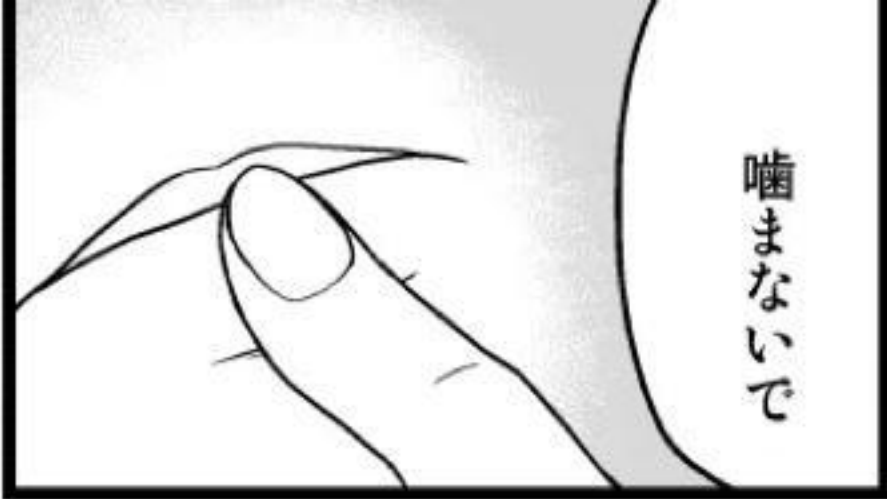
…なるほどな



テリオン
キミが欲しい

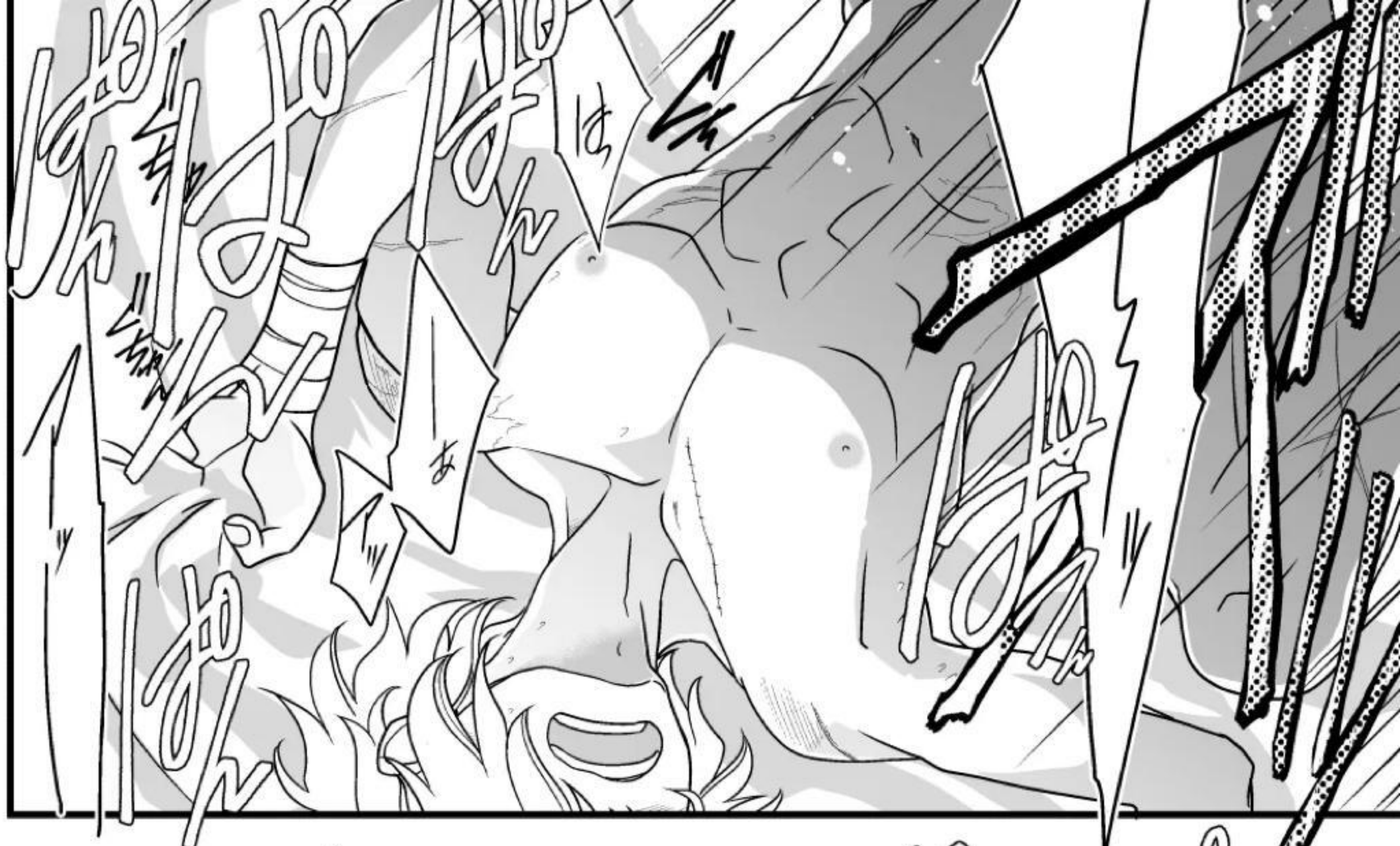




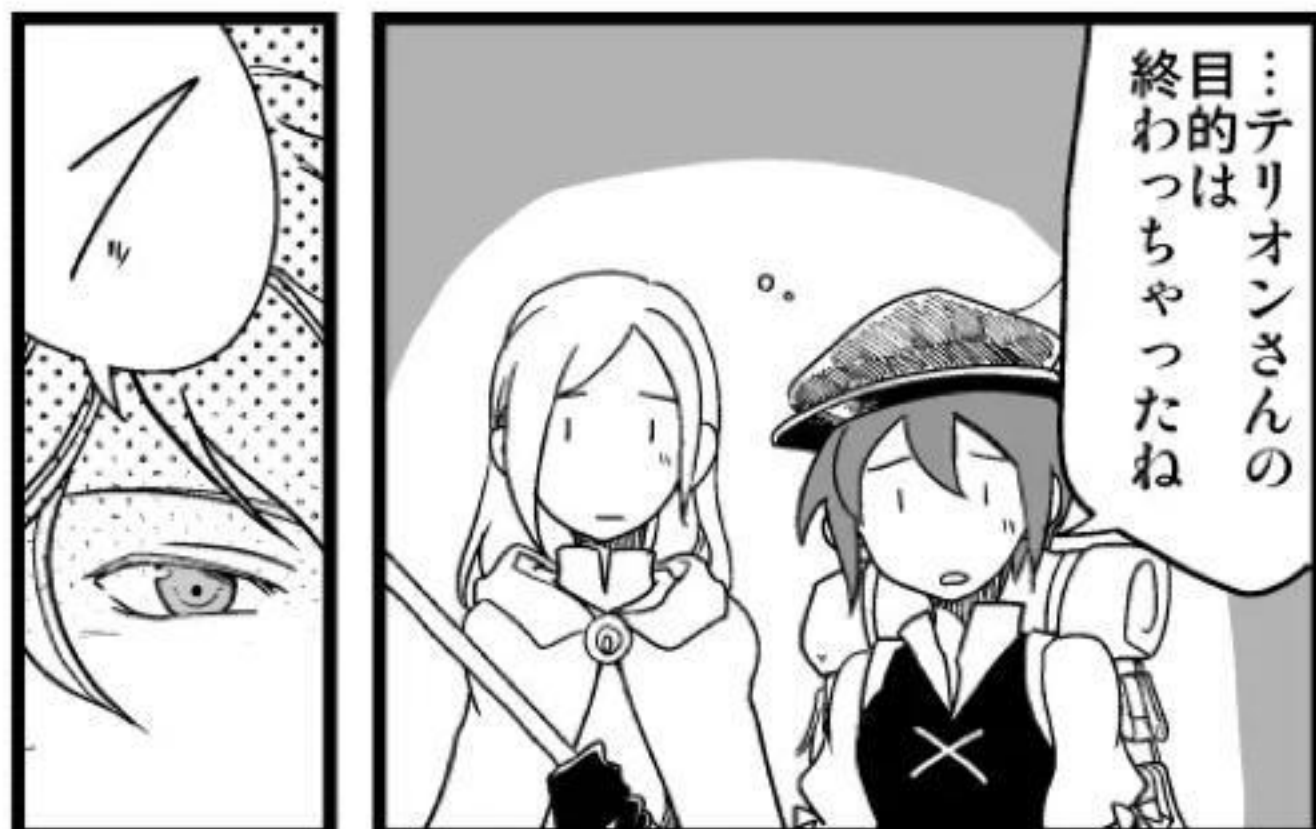


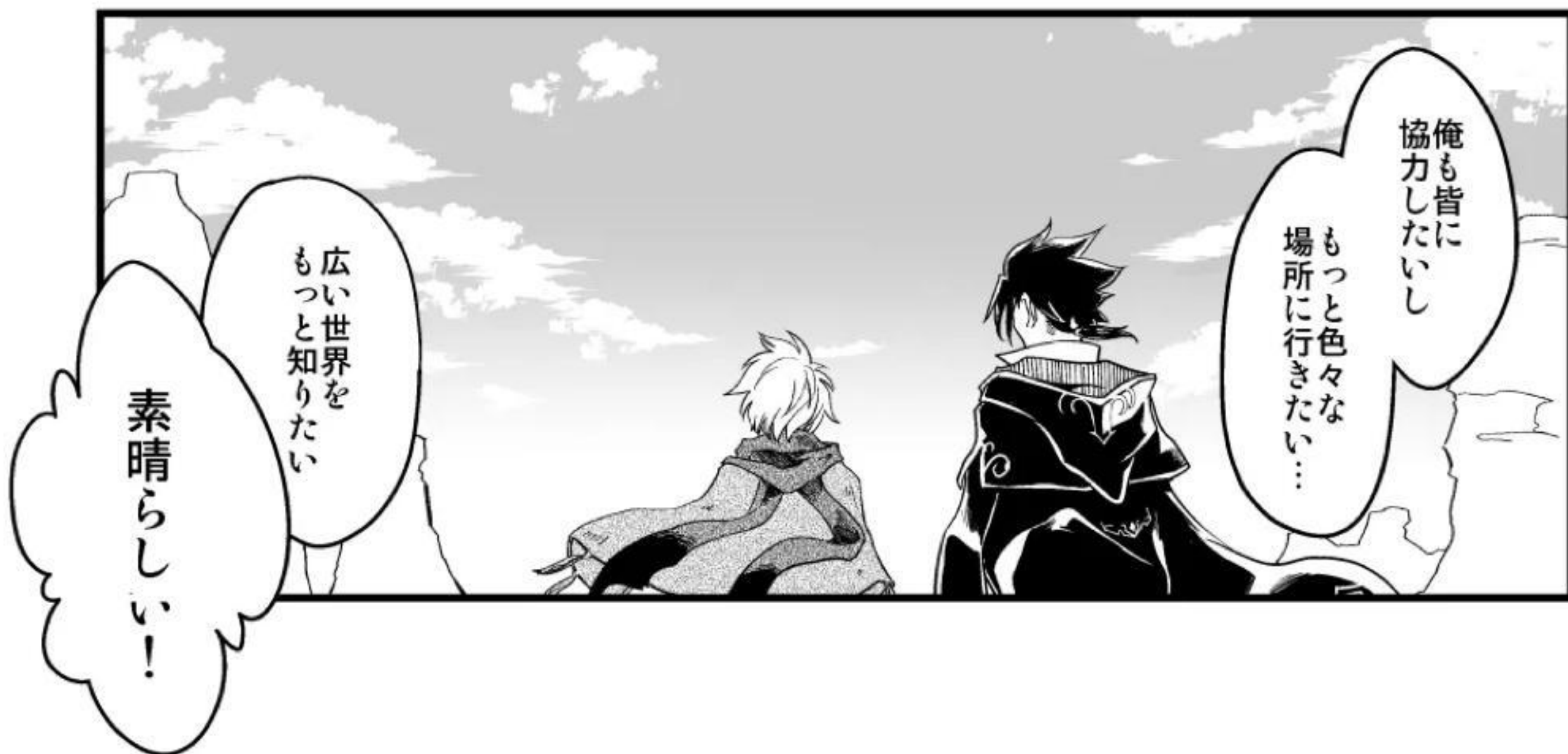


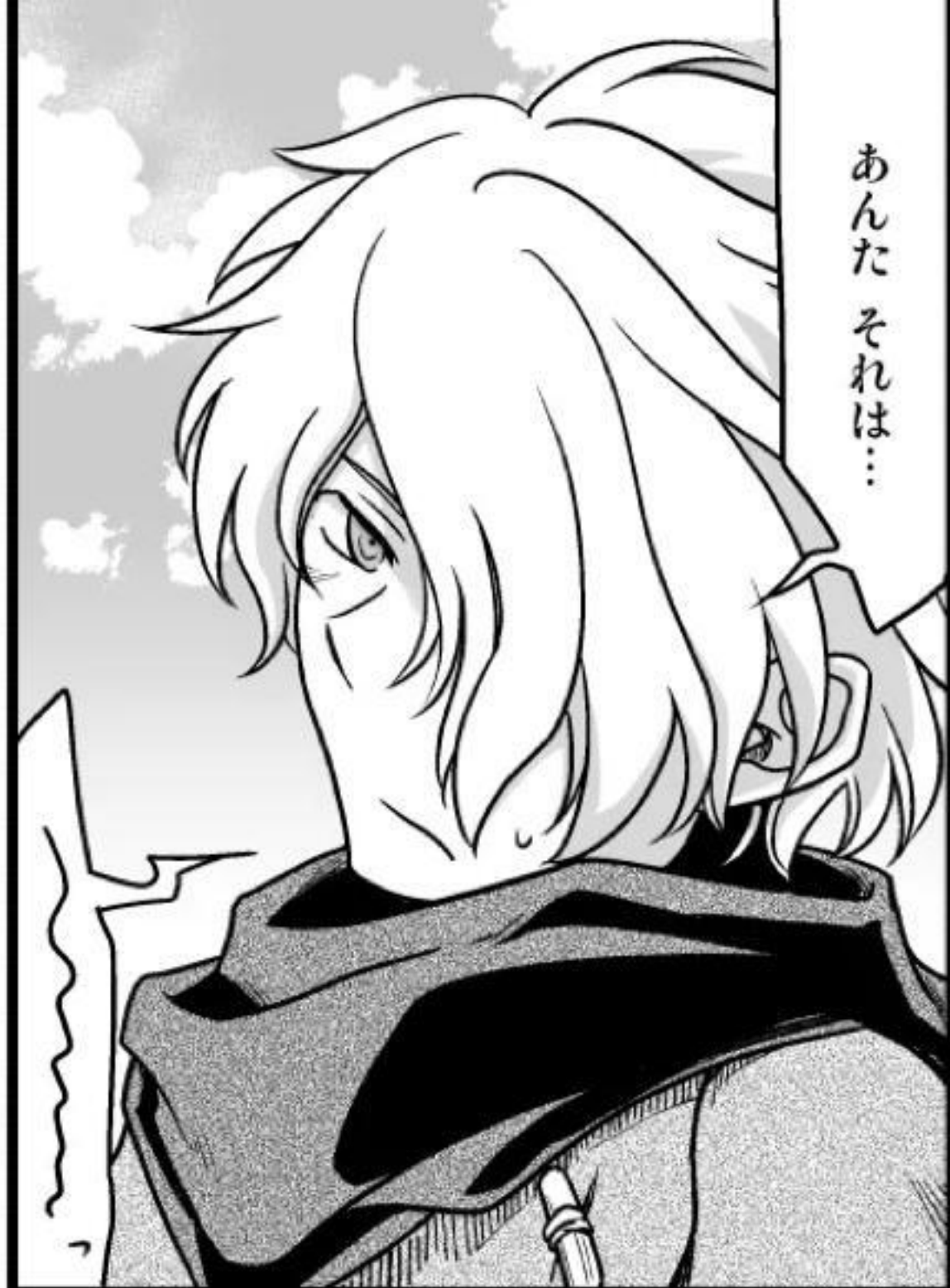












あんた それは…



それなら
アトラスダムも
気に入るだろう

書物は知識が
凝縮されている

旅が終わったら
一緒に
来るだろう？



聡いきみなら
意味は分かるね？

賢いあんたなら
答えはわかって
いるだろう？

END

OCTOPATH TRAVELLER

UNOFFICIAL FANBOOK

CYRUS×THERION

SASORINOKARAAGE